

# IP化の進展に対応した競争ルールの在り方に関する 懇談会ヒアリング資料



平成18年2月1日  
ソフトバンク株式会社

# 1. 結論

## 通信業界の構造改革

NTT再再編 / NTTの垂直分離を提言

加入者回線を光化し、  
ユニバーサルサービスへ

## 2. キーメッセージ

### 全国民に平等で安価なブロードバンド回線を提供

(1) デジタルディバイドの解消

全国100%光回線  
実現の必要

(2) 光回線の普及促進

共通インフラ基盤上での  
真の競争促進

「ユニバーサル回線会社」による  
6000万回線光化

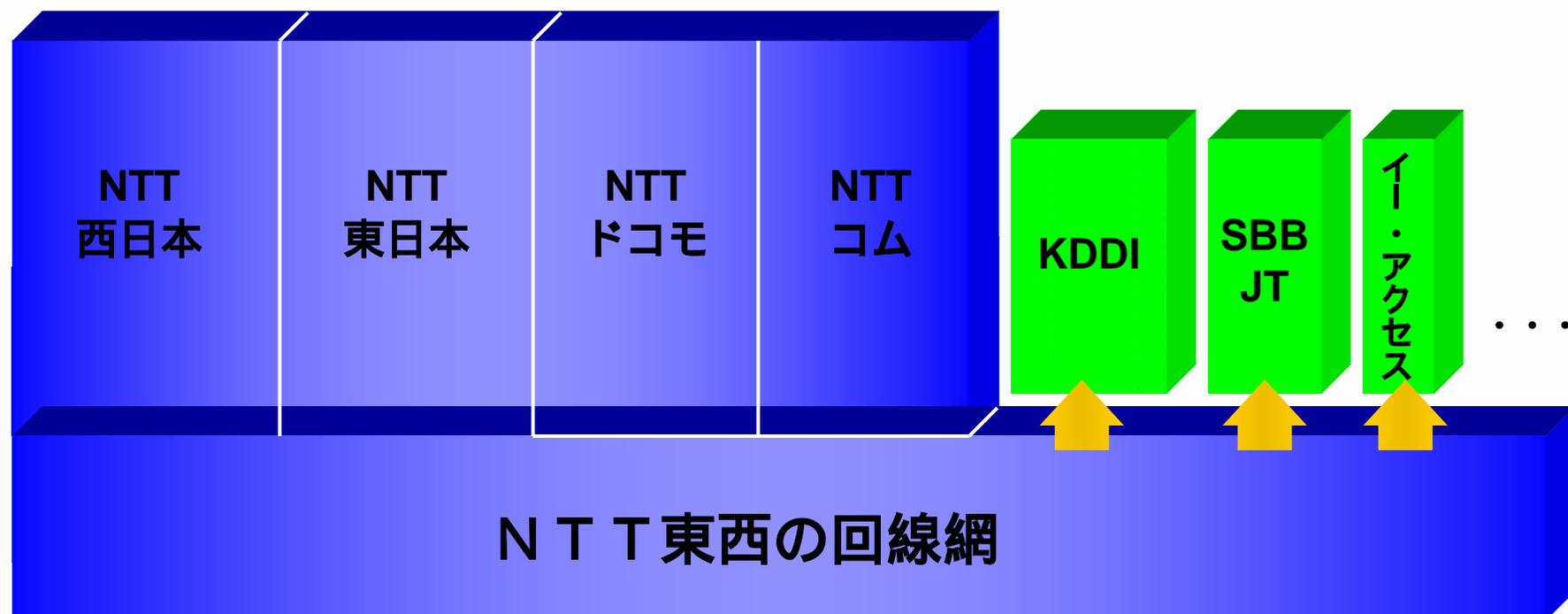
**実現**

100%光ブロードバンドインフラ基盤  
競争事業者間イコールフットイング

## 9-1. FTTH普及促進/デジタルディバイド解消のために

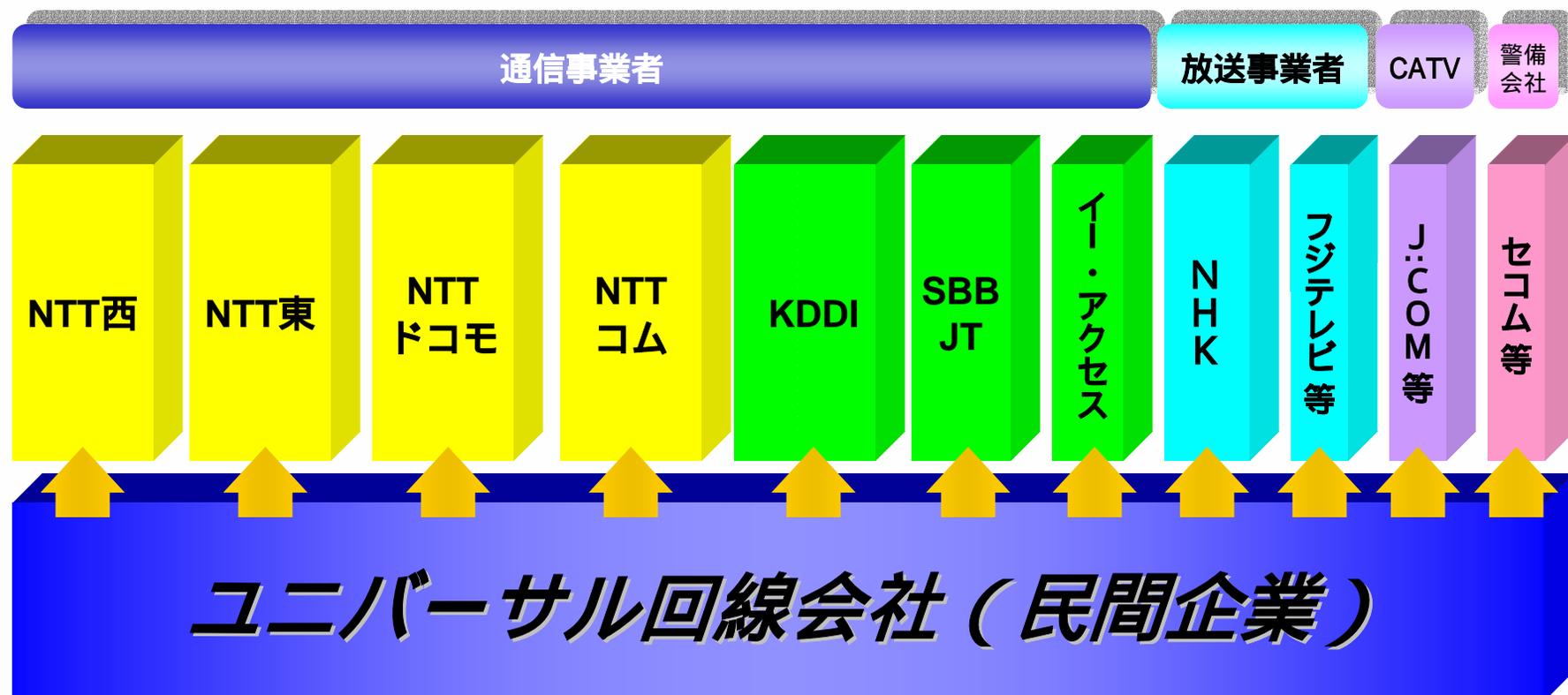
現状 競争事業者は

NTT東西の回線網との接続によりサービスを提供



## 9-2. FTTH普及促進/デジタルディバイド解消のために

ユニバーサル回線会社(民間企業)による計画的一括整備と  
設備開放によるサービス競争が必要



## 10. ユニバーサル回線会社の要件

- (1) NTT東西から物理回線部分を切り出し、ユニバーサル回線会社(民間企業)を創設
- (2) 完全な「イコルフットイング」(公正な競争)

### 完全なイコルフットイング(公正な競争)

- a) 資本分離 / ブランド分離(NTT東西含む) / 人事権分離
- b) 顧客情報データベースの移管
- c) 事業者向け卸業務に限定(エンドユーザ向けサービスの禁止)
- d) 同じ価格 / 同じ手続き / 同じ納期

### ユニバーサルサービス義務

- a) 光回線について、ユニバーサルサービス義務を課す

### 民間企業として運用

- a) 政府保証債による資金調達

# 11. ユニバーサル回線会社(民間企業)による光回線整備

## 前提

- (1) 5年間で、6,000万回線まで敷設(日本全国)
- (2) 回線光化総投資額 : 6兆円
- (3) 設備減価償却期間 : 20年      *実質的には50年程度は利用可能*
- (4) 政府保証債による、投資資金調達 : 20年/年利2%/元利均等償還

## 試算

20年経過時に元本、金利が完済となる回線単価水準を算出

回線単価月額

**光ファイバ1回線/月額 : 約690円**

< メタル回線 << ダークファイバ

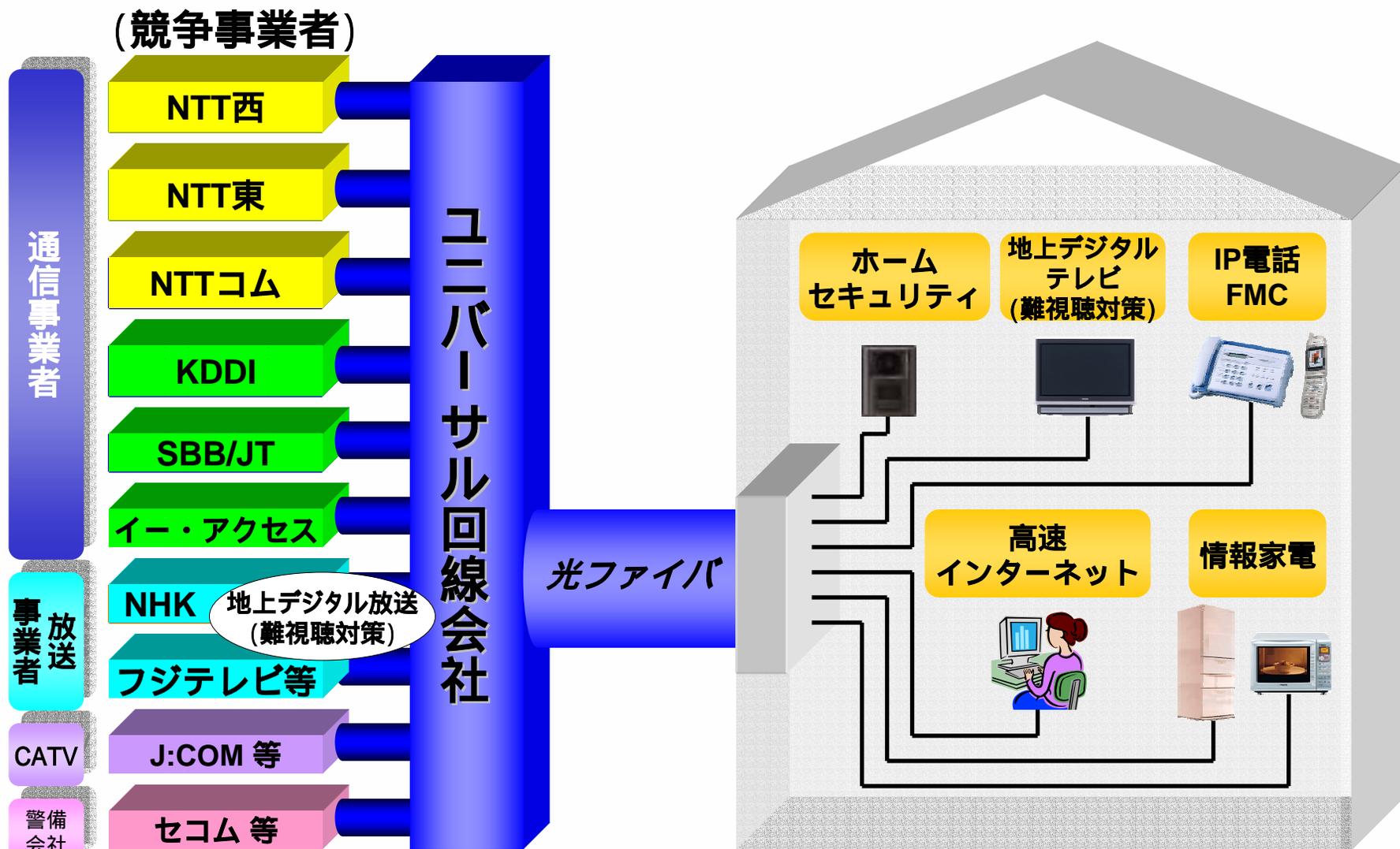
(ソフトバンク株式会社による試算)

## 結果

**6,000万回線光化は、実現可能**  
**メタル回線維持不要(メタル回線維持の方が高コスト)**

# 14. ユニバーサル回線会社による、ユビキタス化

## 光回線を共通インフラとして、ユビキタス社会を実現

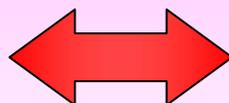


## 15. ユニバーサル回線会社(民間企業)により実現する社会

1. 通信事業におけるフェアな競争促進
2. 新しい時代の新光ユニバーサルサービス
3. 日本の国際競争力復活

### ユニバーサル回線会社(民間企業)による光化

(1) 投資額 : 6兆円



道路整備のケースでは、

78兆円

( 新道路5カ年計画 )

(2) 資金調達 : 政府保証債

(3) ユニバーサルサービス義務

(4) 利用料金 : 現在の利用料金以下(690円)

メタル回線利用料金 : “1366円”